

② これまでの取り組み

「資源循環システム」の構築に向けた取組として、平成15年度に学校給食
単独調理校の大和小学校に資源循環型の業務用生ごみ処理機を導入し、平成
17年度まで「資源循環システム」の構築に関する実証試験を行いました。

—市立大和小学校における「資源循環システム」実証試験—

1. 設置場所 市立大和小学校調理室北側
2. 設置期間 平成15年9月～平成18年3月
3. 設置機種 バイオランナーBR-60SS
(NTT-ME社製)
処理能力：30kg/日
処理方法：バイオ式（微生物発酵方式）



4. 実証試験の内容

① 学校給食残渣等の減量化と堆肥化

給食を作るときに生じる調理くず、残飯などの生ごみを業務用生ごみ処理機を使って減量するとともに、堆肥にするための一次処理（発酵）を行いました。

② 一次処理品の熟成

業務用生ごみ処理機から取り出した一次処理品を、市内農家に依頼して堆肥化を行いました。具体的には、やまと野菜研究クラブ会員の小林利明さんが、大和小学校に一次処理品を引き取りに行き、自家堆肥舎で保管と熟成を行いました。

② 農地への堆肥の還元と農作物の栽培

自家堆肥舎で熟成させた堆肥を農地へ還元し、だいこんを栽培しました。

③ 学校給食への農作物の納品

収穫した農作物を学校に納品し、学校給食の食材にしました。

5. 実証試験での実績

・ 生ごみの堆肥化実績

	運転日数(日)	投入量(kg)	堆肥量(kg)	減量率(%)
平成15年度	55	1,650	341	79.3
平成16年度	176	5,180	1,303	74.8
平成17年度	163	4,792	931	80.6
合計	394	11,662	2,575	77.8

※平成15年度は、10月から翌年3月分までの実績です。

※平成16年度と平成17年度は、4月から翌年3月分までの実績です。

・ 学校給食への農作物の納品実績

平成16年度：じゃがいも144kg、平成17年度：だいこん10kg

6. 資源循環システムの効果

実証試験の結果、次のような資源循環システムの効果が挙げられました。

- ・ 給食残渣が堆肥になることによる児童の環境に対する意識の向上
- ・ 地元の農産物を納品することによる農業者の生産意欲の向上
- ・ 地産地消による環境負荷の低減
- ・ ごみの減量化、資源化の推進
- ・ 農業体験など地域農業者との交流による、都市農業に対する理解促進

7. 実証試験結果を踏まえた資源循環システム構築の取組

これらの実証試験結果などを踏まえ、平成17年度末に学校給食単独調理校2校（市立大和小学校及び深見小学校）に、平成18年度にも2校（市立北大和小学校及び草柳小学校）に資源循環型の業務用生ごみ処理機を導入し、「資源循環システム」の本格稼働に入りました。

その後、平成19年度には市立林間小学校に、平成20年度には市立渋谷

しょうがっこう ぎょうむようなま しよりにき せっち かんりよう こんご しげんじゅんかん
小学校に業務用生ごみ処理機の設置が完了しました。今後も、「資源循環
システム」の更なる検証と普及に向けた啓発を行っていきます。

※こちらに使用されたイラストはすべて、下記に著作権があります

Copyright(C) 2003-2009 清水 麻里 (Mari Shimizu) . All rights reserved.

「ふわふわ。り」(URL : <http://shimizumari.com/fuwa2li>)